

◆ 今週のコメント

- ・ ウイルス性肝炎(B型)の報告が1例(男性, 30歳代)あります。症状は, 全身倦怠感・褐色尿・肝機能異常・黄疸です。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は性的接触(異性間)です。
- ・ A群溶血性レンサ球菌感染症の定点当たり報告数は1.46(60例)で, 前週(0.63, 26例)よりも増加しています。例年, 冬から夏前まで報告数が多い状態が続きますので, 今後の動向にご注意ください。
- ・ 水痘の定点当たり報告数は1.37(56例)で, 前週(1.05, 43例)に比べ増加しています。年齢群別では, 1歳及び2歳が各12例(21.4%)と最も多く, 次いで5歳が10例(17.9%), 3歳が7例(12.5%)となっています。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は, 23.46(1,572例)で, 京都市, 全国ともに前週より減少しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 4例(肺結核 1例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 34例(肺結核 22例, その他結核 9例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 12例】
- ・ 五類: ウイルス性肝炎(B型) 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点67, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	23.46	1572
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.78	278
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.46	60
	③ 水痘	1.37	56
	④ RSウイルス感染症	0.27	11
	⑤ 突発性発しん	0.24	10
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

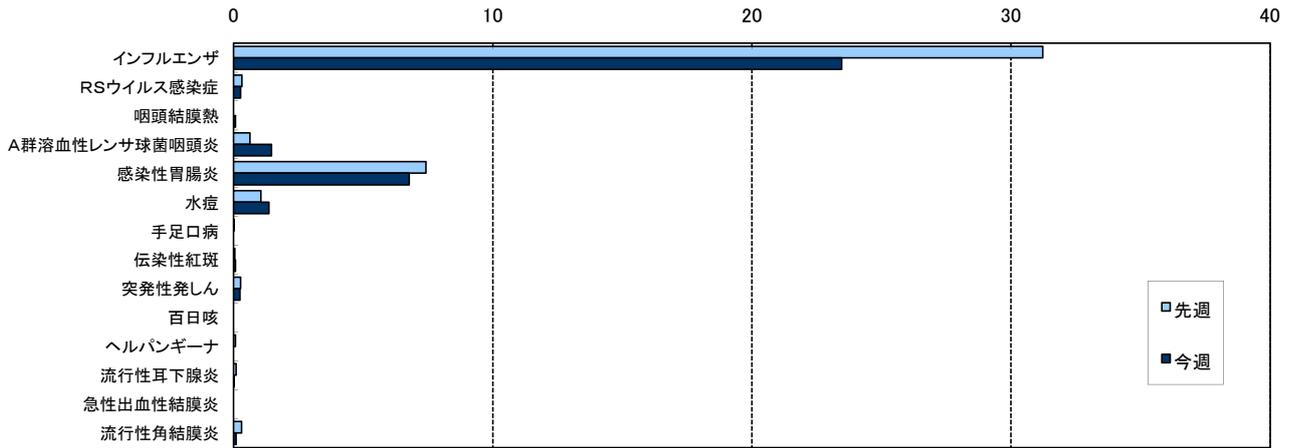
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

(注) 京都市のデータは, 平成25年2月14日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

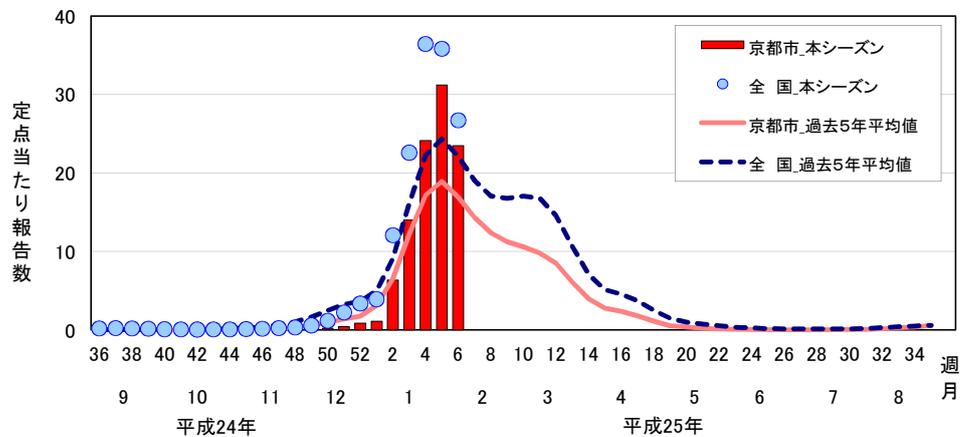
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第6週)と先週(第5週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

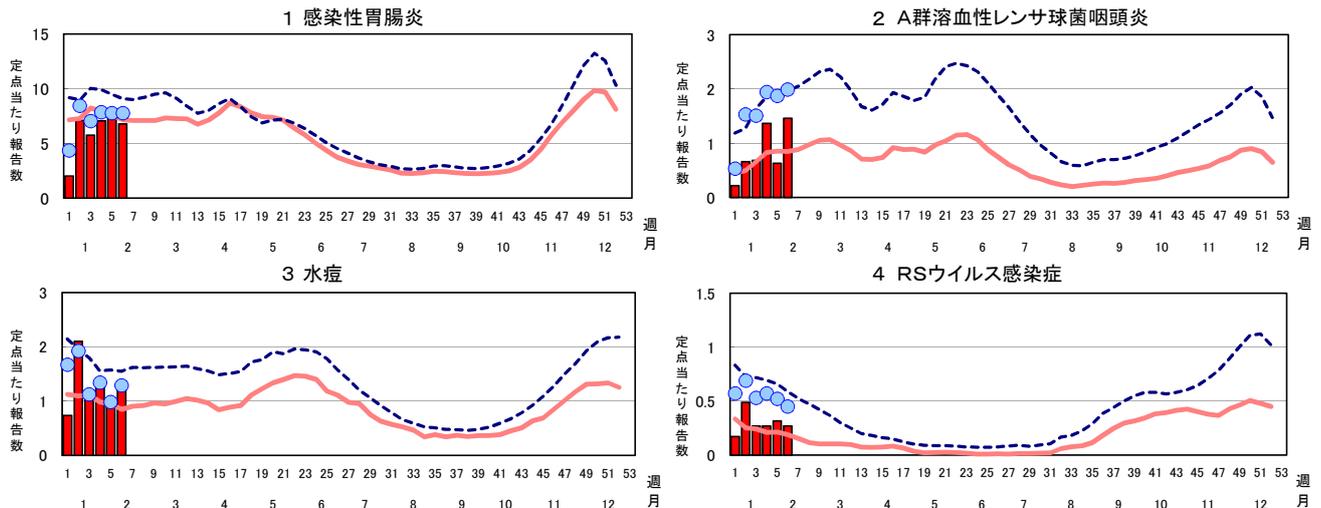
週	報告数(例)
第2週	425
第3週	939
第4週	1616
第5週	2092
第6週	1572
累積報告数 (第36週以降)	6831



*平成21年/22年シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009の影響で、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>

